



自分らしく生きる！ 自分の物語をあきらめず綴っていこう！

厳しい冬の寒さを乗り越え、校庭の桜、花壇の花々はつぼみを膨らませ、春の訪れを感じさせます。この良き日に、育友会会長 近藤誠一様、長崎市議会副議長 相川和彦様、琴海中学校校長 長尾能博様、長浦小学校学校運営協議会長 森浩安様、長浦小ふれあい隊の皆様を始め、多くのご来賓をお迎えし、ここに長崎市立長浦小学校第71回卒業証書授与式を挙行できますことを卒業生と共によろこび、感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

保護者の皆様。お子様のご卒業、心からお喜び申し上げます。卒業という節目を迎えられ、感慨もひとしおのこととお察しいたします。お子様もいよいよ中学生です。人生において大事な時期であり、親としては大変難しい時期に入ります。楽しみも多い反面、悩みを抱えることも多くなると思いますが、悩みのない子育てはありません。親としてともに悩み、ともに育つという姿がお子様にも希望や勇気を与えます。ぜひ、お子様の夢を支える一番の理解者であってください。

これまで本校教育に頂戴いたしましたご厚情に篤くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、本校から巣立ちゆく13名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝いをいたします。

皆さんとは2年間一緒に過ごし、多くの行事や日々の活動で、大きく成長する姿をそばで見してきました。

「やりたいことは言うておいて、校長先生ができることは何でもしてやるから」と言って、この一年がスタートしました。やるからにはその時々皆さんの思いや覚悟を確かめました。5月の運動会の長浦太鼓、7月のペーロン体験、2学期から3学期を費やしたふるさとの輝いている人めぐりなど、やりたいことは何でもOKを出してきました。そこで皆さんが見せてくれた何事にもチャレンジすること、最後まであきらめず続けることは、長浦小学校のよき伝統として、下級生に引き継がれていくことでしょう。

卒業生の皆さん、私は「ふるさと」について、常々語ってきました。

ふるさとには、皆さんの我が家があり、そこに住む家族。母校の長浦小学校があり、そこには信頼し合える仲間。豊かな自然、受け継がれる伝統をもつ素晴らしい地域。特に、皆さんは総合的な学習の時間で、「ふるさとのひと」について学び

ました。このふるさと長浦・尾戸で素敵できらきら輝く人取材し、「ふるさとステキカレンダー」を作りました。このカレンダーは皆さんの学びの深さやふるさと愛を感じさせるものとなりました。

私がふるさとを学ぶことにこだわるのは、ふるさとは愛すべき人・物・ことがあること、「ふるさと」とは自分を元気に笑顔にしてくれる場所であることを実感して、これから生き抜く力としてほしかったからです。

最後に、私が大好きなキロロが歌う「未来へ」の一節を、皆さんに贈ります。

♪ほら 足元を見てご覧 これがあなたの歩む道
ほら 前を見てご覧 あれがあなたの未来



夢はいつも 空高くあるから 届かなくて怖いね
だけど追い続けるの 自分の物語 だからこそ あきらめたくない♪

卒業生の皆さん、これからは自分の物語を生きてください。この物語はあなた自身が主人公です。自分の夢を追い続け、自分らしく生きてほしい。思うようにならずに、迷ったり悩んだりしたら、このふるさとを、思い出してください。

ふるさとは、常に皆さんの心の中にあります。遠く離れていても、ふるさとは、皆さんの夢を全力で応援しています。

このふるさと長浦・尾戸に誇りと愛着を持ち続け、夢に向かって自らの未来を切り拓き、自分の物語をあきらめず、綴り続ける皆さんであることを祈念して、式辞といたします。

令和6年3月18日

長崎市立長浦小学校長 椋本博志

